

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	湘南台地域まちづくり事業費										担当	部課名	市民自治部湘南台市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	10	課等の長	中川 稔行	電話	6294

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域主体のまちづくりを推進するため、地域の特性や個性を生かしながら、各地区でそれぞれの事業に取り組むもの。						
事業目的および必要性	湘南台地区地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれて、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」の実現に向けた取り組みとして、各種事業を実施し、まちづくりの推進を図るため必要である。						
対象	1. 個人	市民(湘南台地区)				32,212	人
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	■ 直接実施						
	■ 委託・指定管理 (委託先: ①(特非)藤沢市民活動推進機構②湘南台地区文化創造推進協議会) (委託等内容: ①地域サポーター養成講座開催業務委託②湘南台駅地下イベント 広場活用運営等事務委託)						
	■ 補助金・負担金 (補助金: 湘南台子育て応援メッセ実行委員会)						
	■ その他 (負担金 デジタル簡易無線電波利用料 関東綜合通信局)						
藤沢市市政運営の総合指針2020							
重点施策名			指針体系コード		その他の計画との関連		
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			4-3-141				
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
市民の意識が高く市民参加型の地域づくりが進んでいること		2.8 点	2.7 点	2.79 点	2.91 点		
		点	点	点	点		

平成30年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	報償費	15 千円	「ようこそ先輩in湘南台」講師謝礼
	需用費	1 千円	「ようこそ先輩in湘南台」消耗品
	1,174 千円	920 千円	「文化創造事業」湘南台駅地下イベント広報活動用運営等業務委託他
	238 千円	「子育てネットワーク事業」活動支援補助	
【参考】 令和元年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	報償費	15 千円	「ようこそ先輩in湘南台」講師謝礼
	需用費	98 千円	「緑の回遊路事業」消耗品
	1,271 千円	920 千円	「文化創造事業」湘南台駅地下イベント広報活動用運営等業務委託他
	238 千円	「子育てネットワーク事業」活動支援補助	

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等	2.80	2.80	2.50	3.00
再任用短時・任期付短時職員	0.08	0.08	0.41	0.16
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2.88	2.88	2.91	3.16

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容		①ようこそ先輩in湘南台事業：先輩講師3人による中学生との交流事業「ようこそ先輩in湘南台」を3月に実施した。②緑の回遊路事業：事業実施に向け検討会議を行った。③子育てネットワーク事業：実行委員会の開催や地域団体への協力要請を行い「第7回湘南台子育てメッセ」を開催。④地域サポーター育成事業：藤沢市民活動推進機構と連携し、地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」を開催。⑤文化創造事業：湘南台の地域性や特性を活かし地下イベント広場の有効活用を図るため「湘南台七夕まつり」、「ピクニック」とその仲間たち・PART3『湘南台グルマン祭』を開催した。					
成果 目標	指標名	単位	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	備考
	湘南台子育て応援メッセの来場者数	人	700	700	700	700	
	地域の縁側事業の利用者数	人	1,000	2,000	2,000	2,000	
	湘南台七夕まつり来場者数	人	13,000	14,000	17,000	18,000	
参考又は上記指標名の設定ができない理由							
活動 実績	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	備考
	湘南台子育て応援メッセの開催	回	1	1	1	1	
	ちょこっと湘南台の開所日数	日	169	233	233	234	
	湘南台七夕まつり実行委員会の開催	回	3	3	3	3	
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	湘南台子育て応援メッセの来場者数	人	700	600	800	800	
	地域の縁側事業の利用者数	人	972	2,079	2,035	1,963	
	湘南台七夕まつり来場者数	人	14,000	17,000	18,000	19,000	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト	行政費用(フルコスト) A	31,809	29,596	25,777	31,876
	(1)現金を伴う支出 (千円)	32,379	29,686	27,417	30,639
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,366	2,379	1,170	1,174
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	27,013	27,307	26,247	29,465
	職員数(常勤 非常勤)	2.88 0.00	2.88 0.00	2.91 0.00	3.16 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	25,593	25,782	25,128	28,057
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	1,420	1,525	1,119	1,408
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-570	-90	-1,640	1,237
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-570	-90	-1,640	1,237
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
収入	行政収益(事業収入) B	2,178	2,177	2,178	2,178
	(3)現金を伴う収入 (千円)	2,178	2,177	2,178	2,178
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0
	③国庫支出金	0	0	0	0
	④県支出金	0	0	0	0
⑤その他()	2,178	2,177	2,178	2,178	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額	0	0	0	0	
収支差額(純費用) A-B E	29,631	27,419	23,599	29,698	
分析 指標	項目	14,000	17,000	18,000	19,000
	単位	人	人	人	人
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	2,272.07	1,740.94	1,432.06	1,677.68
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	70.45	64.50	55.20	69.17
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)
 ※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	地域コミュニティの特徴が見えにくい。
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	「湘南台地域」の特性や個性を考えつつ更なる魅力創造のために、地域に暮らす住民が一体となって取り組める事業の検討を行った。
(3) 平成30年度末時点の課題	地域団体の高齢化が進んでいる。 仕事をしている現役層が地域活動になかなか参加できない。
(4) (3)解決のための今後の取組	仕事や家事が忙しく、なかなか地域活動に参加できない現役世代の率直な意見を収集し「湘南台地域の新たな魅力創造」に繋げていく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	○	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ○ ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		ア=恒久的に実施するもの ○ イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額		ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 ○ オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合		ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 ○ オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 ○ オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	郷土づくり推進会議をはじめとした各種地域団体において担い手となる人材の高齢化が著しい現状がある。現役世代においては、共働き世帯の増加などから地域活動への参加が難しい状況が深刻化している。	
	他市等の事例 地域と行政が協働し、まちづくりへの取組を進めている事例もある。	
市民ニーズ	把握方法	地区全体集会での意見、要望、及びアンケート調査等 アンケート調査 2018年11月20日～12月8日 25件
	把握内容	「全体集会のような場はリタイアした人が多く集まっていると思うが、若い人や子育て中の人の意見も聞く必要があると思うが参加することが難しいと思うので、意見を集める新しい仕組みづくりができれば良い。」「エスカレーター稼働時間を午後11時まで延長してもらった経緯があるが、終電の時間までは稼働してもらえるようお願いしたい。」等の意見があった。
	対応等	「郷土づくり推進会議」において地域全体集会で出された意見、要望等を再確認し各部で今後の対応について検討された。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域まちづくりとして新たな事業を検討することからくる委員の負担を軽減するためにも、今まで行ってきた事業をしっかりと検証し、新たな方向性に向けた協議を行っていく必要がある。	
	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	郷土づくり推進会議において、これまでに実施した地域まちづくり事業を総括、検証し事業の展開や進め方について更に協議を進める。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	郷土づくり推進会議の選定について	無	無	1	1
2	郷土づくり推進会議の開催について	無	無	1	2
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連携調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/8/29
----	-------	----	-------	-----	-----------